平成26年度



学校だより 第4号

高岡市立木津小学校 平成 26 年 7 月 23 日 発行責任者 森田英宏

多中心分裂&多切别公子



あいさつ 挨拶

教頭 笹島久美子

「おはようございまーす。」

今朝も、集団登校の子供たちから、元気のよい挨拶の声が聞かれます。

「挨拶」。あいさつは、漢字でこう書きますが、これはもともと禅語だそうです。

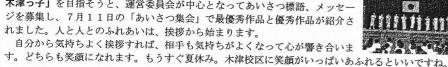
「挨」も「拶」も「押し合う」ということで、禅僧が互いに「押し問答」をする中で、心の中を推し はかり、相手の悟りの程度を知ろうとするというのが、本来の意味だそうです。「挨拶」と「心」は切り 離せないんですね。

「語先後礼」という作法。これは、相手をきちんと見て、まず、「おはようございます。」の言葉を述べ、 その後に丁寧に頭を下げるというやり方です。お辞儀と言葉が同時よりも、はるかに言葉もよく伝わり、 動き(所作)もきれいに決まる、パワーアップした挨拶です。

木津小学校は「自分から挨拶する子供」を目標に掲げています。

「挨拶は自分から進んで大きな声でする」・・・みんなが分かっているのに、これがけっこうできませ ん。元気な「おはようございます!」に混じって口の中でもごもごと「おはよう・・・・。」の声が聞こ

えてきます。そこで、「いつでも、どこでも、だれにでも、挨拶できる元気な 木津っ子」を目指そうと、運営委員会が中心となってあいさつ標語、メッセー ジを募集し、7月11日の「あいさつ集会」で最優秀作品と優秀作品が紹介さ れました。人と人とのふれあいは、挨拶から始まります。



「あいさつ標語・メッセージ」最優秀作品 笑顔を呼ぶのはあなたから 相手も笑顔いい気持ち 5年 東 千桜 さん

木津っ子に夏が来た!



5月に朝顔の種を鉢に まいて、大切に育ててい る1年生。夜中や明け方 にどれだけ激しく雨が降 っても、毎朝の水やりは 欠かしません。色鮮やか な大輪の花が次々に花開 いて、校庭で遊ぶ子供た ちの目を楽しませていま す。

学習サポート・学びのアシスト・スタディメイトジュニア







本間 嶺さん

難波 拓実さん

牧田 和さん

富山国際大学3年生の本間 嶺さん、富山大学1年生の難波拓実さん、 牧田 和さん (元木津っ子) が、毎週水曜日に本校に来ています。

学級担任の手伝いをしながら、学級運営や児童、教職について、体験的 に学んでいます。本間さんはひまわり学級、難波さんは2年1組、牧田さ んは4年1組の配属になり、お兄さん先生、お姉さん先生としてはりきっ ています。

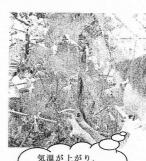
「たくさんの子供たちと接しとても勉強になる」(本間さん) 「子供たちからもらった元気を倍で返せるようがんばりたい」(難波さん) 「かわいくて元気な子供たちとたくさん学びます」(牧田さん)

自然の不思議を実感できる理科を目指して 理科専科 伊勢田 佳英子

理科では、水・空気・火など日常の生活の中に身近にあるものから、空・星・月など手の届か ない地球や宇宙までが学習の対象となります。木津小学校の子供たちに、授業を通して目の前に ある自然の不思議さや、その自然の中に生きる自分の命を感じとってほしいと願っています。そ のために、実験や観察などの体験を大切にするよう心がけて、毎日の授業に取り組んでいます。

磁力が発生するこ

とを確認。(5年生)



ぐんぐん伸びる

へちまにびっく り!! (4年生)





新聞紙を9mつなげ るのは大変だった。で もこんな長い消化管が 体の中に入っている なんて。 (6年生)



高岡フィルハーモニー管弦楽団 コンサート

毎年1回、木津小学校では「芸術鑑賞会」という行事が行われています。外部から劇団やオー ケストラなどを招いて全校の子供たちの目の前で演じてもらい、芸術を感じる行事です。

今年は6月22日、地元の「高岡フィルハーモニー」のみなさんを招き、体育館でコンサート が行われました。

迫力のある大音量の音楽や、何種類ものきれいな管楽器を目の前にして、子供たちは大興奮で した。音楽の授業やテレビなどで聴いたことのある曲もあり、子供たちにとって、クラシックの 音楽を身近に感じるとてもよい機会になりました。

【児童の感想より】

きょう、ぼくは学校でコンサートを見ました。オー ケストラの人がたくさんいて、楽器の種類もたくさん ありました。1番好きな曲は、2番目の「シンコペー ティッド・クロック」でした。さい後に、オーケスト ラといっしょに「天空のしろラピュタ」と木津小学校 の校歌を歌いました。とてもいい気分で歌えました。

